

2013年度名古屋大学学生論文コンテスト

優秀賞・附属図書館長賞 受賞

大学生が考える「女子力」とは？－男女間の認識の相違－

法学部 柘植 結月

1. はじめに

(1) 研究の背景

最近、日常生活の中で「女子」ということばを耳にすることが多いと感じている。例えば、飲食店や旅行会社は「女子会」や「女子旅」ということばを使用し、女性をターゲットにした事業を展開している。テレビ番組や雑誌などのマスメディアでも、「女子力アップ」をキャッチフレーズに掲げた情報提供が多く行われている。また、友人との会話の中でも男女を問わず「女子力」ということばを使用する人が多い。自分やある人の言動を指して「〇〇って女子力高い」と言ったり、「私って女子力低い」と言ったりするのである。筆者自身も、あまり深く意味を考えずに上記のように「女子力」ということばを使用している。さらに、女子だけで集まってする会話は「ガールズトーク」と呼ばれ、日常会話とは異なる何か特別な意味があるもののように思われる。

このように、近年では社会的規模でも個人的規模でも「女子」という概念が浸透しているのである。その一方で、「男子力」や「男子会」、「ボーイズトーク」ということばはほとんど聞かない。戦後の日本では、女性の社会進出や法改正などによって男女平等が進められてきた。その過程を経た現代では、戦前のような男尊女卑の風潮は(一見)消滅し、日常生活の中で女性が自らが女性であることに引け目を感じることはほとんどないと思われる。このように男女平等が当然のようになった現代社会で、先述したように「女子」の存在を強調する傾向が高まりつつあるのだ。なぜ、このように「女子」という存在が最近になってクローズアップされるようになったのであろうか。この点に疑問を抱いたことが、本研究の発端である。

(2) 研究の目的

本研究では特に、マスメディアでも日常会話でも最近よく耳にする「女子力」ということばに焦点を当てる。「女子力」ということばは、人々の間でごく自然に使用されていながら、実はその意味は多様かつ曖昧であるように思われる。今回は現代の大学生が使用する「女子力」を対象に、その内容を明らかにしていくことを目的とする。

また、筆者は、アンケート調査を行う以前に、マスメディアによる情報や文献調査の結果から、あるひとつの仮説を立てていた。その仮説とは「『女子力が高い』と言うとき、男性は女性の外見を重視し、女性は彼女たち自身の内面を重視している」というものである。男女それぞれがイメージする「女子力」に共通点・相違点はあるのだろうか。現代の大学生が考えている「女子力」¹とはどのようなものなのかを明らかにするために、アンケート調査結果の男女差に特に注目し、上記の仮説の真偽も確かめる。

(3) 研究の意義

現代の大学生の意見から得られた「女子力」に関する発見を、本論文を通して発信することで、現代の大学生が男女間の相互理解を深める一端となることが、本研究の意義となるこ

¹ 以下本論文では、筆者が明らかにしようとしている現代の大学生が使用する「女子力」を、世間一般で通用している女子力とは特に区別して、「女子力」と「」つきで表現する。

とを期待する。

(4)研究方法

現代の大学生男女それぞれが考える「女子力」の内容を知るために、名古屋大学の一年生男女を対象に、アンケート調査を行った。そこで得られた結果から、男女間の「女子力」に対する認識の共通点や相違点などの特徴をまとめた。

また、「ジェンダー意識」をキーワードとする書籍や論文を利用した文献調査を行った。女子力は比較的新しいことばであり、書籍や論文のみでは情報が不足することが予想されるため、必要に応じてインターネットによる情報も活用した。

2. 文献調査

(1) 女子力の起源と変容

まず、女子力ということばが世間一般で広く使用されるようになった経緯と、世間一般で通用している大まかな意味を調べた。

女子力ということばを最初に使用したのは、漫画家・安野モヨコ氏であると考えられている。²安野氏は自身が書いたエッセイ『美人画報ハイパー』（講談社、2001）という作品の中でこのことばを使用した。彼女は自身の経験から、「仕事をきちんとなしていても美しくなければまったく価値をもたない世界も存在するのだ」と考えるようになり、「女子は仕事できてもキレイじゃなければ駄目なんです！！」³と、女性が美を追求することの重要性を主張した。すなわち安野氏は、女性が美しくなろうと努力することこそが女子力であると考えたのである。

2009年にはユーキャン新語・流行語大賞にノミネートされた。ユーキャン新語・流行語大賞の全授賞記録では「『きれいになりたいと願い、行動する力』という意味で使われるが、最近ではその意味はさらに広くなり、女性であることを楽しむ積極性や、女性特有の魅力を高めていく前向きな姿勢を指すようになった。」⁴という説明がされており、明確な定義はなく、意味の拡大・変容もみられているようだ。また、2009年には同時に「婚活(結婚活動)」ということばもノミネートされており、人々の結婚に対する意識の高まりが窺える。このことが、人々に自身の魅力向上のための努力を促し、結果として女子力ということばの普及につながったとも考えられる。

しかし実際には、女性が女性の言動に対して「女子力高いね」と褒めるなど、女子力は必ずしも異性を意識したものであるとは言えない部分があるようだ。また、当初安野氏が主張していたように「外見に気を配ることが女子力」とも言い切れなくなってきたのではないか。日常会話で耳にする「女子力高いね」ということばは、ある女子の外見に限らず、気配りや

² 『『現代用語の基礎知識』選 ユーキャン新語・流行語大賞 全授賞記録』
<<http://singo.jiyu.co.jp/>>(参照 2013.11.18)

³ 安野モヨコ(2001)『美人画報ハイパー』講談社、p.175

⁴ 『『現代用語の基礎知識』選 ユーキャン新語・流行語大賞 全授賞記録』
<<http://singo.jiyu.co.jp/>>(参照 2013.11.18)

家庭的な面に対して向けられることも多いからである。

したがって、女子力とはその意味が徐々に拡大・変容しており、今後もまた変化していくことが考えられる、きわめて多義的なものであると述べることができるだろう。

(2) 従来 of 女らしさとの比較

「女子力」の意味を改めて考え直そうとしたとき、ひとつの疑問が現れた。それは『女子力が高い』ということは『女らしい』ということと同じなのか」という疑問である。

人々の意識には男らしさ・女らしさに関する固定観念、すなわちジェンダー意識が昔から根強く存在しているということは、現在でも多くの学者が指摘している。従来は女らしさとはどのようなものだと考えられてきたのだろうか。また、それは「女子力」と何か関連があるのだろうか。女らしさと「女子力」の比較検討をするために調べた。

高井・岡野(2009)らは、2006年8月~10月にかけて、大学生と20代以上の成人を対象にアンケート調査を行った。その質問紙の自由記述欄では「あなたは男らしさをどのように考えますか?」「あなたは女らしさをどのように考えますか?」「異性に求めることはどんなことですか?」といった内容が尋ねられた。その結果、性別・年齢を問わず女らしさとして多く挙げられた内容は、優しい・上品・繊細・家庭的・かわいい・愛嬌・色気・美しい・控えめ・男性を立てる・明るい・あたたかい・思いやりなどであった。さらに高井らはこの結果を、約30年前に伊藤(1978)が行った類似した調査⁵と比較することで、人々のジェンダー意識は年月を経てもあまり変化がないと指摘している。

江原(2008)は、上記のような社会通念としての女らしさに関して、主に二つの側面を指摘している。ひとつは「規範」としての女らしさ、もうひとつは「男性にとっての理想の女性像」としての女らしさである。

江原によれば、社会通念としての女らしさとは、現実 to 個々の女性をみた場合の特性を指すものではないという。それはあくまで「多くの女性は…だ」とか「女性はどちらかといえば…のことが多い」というように、女性を集団としてみた場合の大まかな特徴ないし傾向を挙げたものにすぎないのである。「私たちの社会において『女らしさ』と考えられていることは、現実の女性たちから経験的に導かれた『事実』としての『女らしさ』から構成されているというよりむしろ、現実の女性たちがどのような特徴を持っているかということとは関わりなく構築された『あるべき女性像』、すなわち理念型としての『女性』を示していると考えた方が適切だ」⁶と江原は考える。すなわち、従来考えられてきた女らしさとは「女は…である」という事実というよりも、「女は…であるべきだ」という規範を意味しているのである。これが「規範」としての女らしさである。

江原が指摘するもうひとつの女らしさの側面は、男性視点から定義されている部分があるということである。従来 of 女らしさの要素のひとつとして、従順であることが挙げられる。先述 of 高井らの調査では、特に40代以上の男性が従順であることを女らしさだと考えていた。

⁵ 高井範子・岡野孝治(2009)「ジェンダー意識に関する検討-男性性・女性性を中心にして-」、『太成学院大学紀要 11』pp.61-73

⁶ 江原由美子・山田昌弘(2008)『ジェンダーの社会学 入門』岩波書店、p.24

江原は従順であることの他に、従来の女らしさに含まれる、かわいい・控えめ・男性を立てるなどの要素を総合して「かわいらしく、男性より劣る」という、男性にとってはリードするのに都合のよい女性像を見出した。これが「男性にとっての理想の女性像」としての女らしさである。

山田(2008)は、異性に好まれるタイプは大体決まっていると主張する。それは、人々が幼少期からどのような異性が魅力的であるかということが繰り返し刷り込まれ、「身体化」してしまうからだと言っている。山田は述べる。「身体化」とは、ここでは自分の意思では容易に変えることができない、自分に内在すると感じられるモノになるということを表す。

山田によれば、一般的に男性は社会的・経済的地位が高いほど女性に好まれる傾向がある。それに対して女性は、社会的・経済的地位と男性からの選ばれやすさとは無関係だと言う。むしろ能力が高く、仕事ができる女性は「自分にとってもったいない」「引け目を感じてしまう」と、かえって男性から敬遠されてしまうのだ。男性からみて、家事好き・容姿がかわいい・男性に尽くしてくれるといった要素をもつ女性が、社会的に形成された、男性から結婚相手として好かれる女性像なのである。そして人々は相手に好かれるために、このように身体化された魅力的な異性の理想像に自身を近づけようとするのだと言っている山田は述べている。

以上のような主張から、従来の女らしさとは、かわいらしく家庭的で、控えめでおとなしい、男性の一步後ろを歩くような女性像を指し、それは男性の理想を強く反映したものだと言えそうである。自分に自信があり、男性に自ら積極的にアプローチしていく「肉食系女子」が近年話題になっているのは、彼女たちが上記のような従来の女らしさの枠組みにそぐわない存在であるからではないだろうか。しかし、女性の社会進出が進み、キャリアを追求する女性も多くなってきた現在では、このような昔からのジェンダー意識こそが時代の変遷に沿わないものと言えるのではないか。

ここで明らかになった従来の女らしさと、「女子力」の比較については、3.アンケート調査の結果を参照しながら、6 ページにて述べることにする。

(3)女子力に関する議論

① 誰のため・何のための女子力か？

そもそも、女子力の必要性はどこにあるのか。古市(2013)は、女性誌の女子力向上を呼びかける内容に対してこの疑問を抱き、女子力とは「誰のためかわからないような努力を黙々と続け、しかもその努力を人には見せない修行僧のような能力」⁷だと考える。男性に選ばれるため・結婚に結びつけるためといった異性を意識した理由だけでなく、自分に対する自信をつけるため・女子力向上の過程を楽しむためといった女性であることを肯定的に受け入れ、楽しむような理由も考えられるであろう。

② 女子力のお手本は？

女子力アップを目指す女性たちにとって、憧れの女性は誰なのだろうか。西森(2013)は、ブロガーの存在に注目する。彼女は「タレントのような自分から離れた存在よりも、一般人から階層移動したブロガーのような自己に近い存在のほうが、自己

⁷ 「ジレンマ+」編集部 編(2013)『女子会 2.0』NHK 出版、p.106

を投影しやすく、憧れられるのではないか」⁸と述べる。千田・水無田(2013)らは、プロ意識をもっているとまではいかないが、女子の中では「イケてる成功者」と考えられている読者モデルが、一種のレファレンスグループ(人が行動する際に、自身の価値観や信念の他に参考にする社会集団。準拠集団。)になっていると述べる。⁹

ブロガーも読者モデルも、いずれも一般女性にとって目標にちょうど良い身近な存在であることが重要な点であるようだ。これは、女優やモデルなどの有名人を真似ることに対する自信のなさや、周囲の反応を気にすることなどが関係しているのかもしれない。また、以下③で述べるように、女子力向上への意識の高さに対する危惧も関係していると考えられる。

③ 女子力のマイナス面

女子力を向上させようと努力することは必ずしもプラスにはたらかないようだ。特に男性が、女性の露骨な女子力アピールや、あまりに過剰な女子力向上への意識に引いてしまうこともあるという。

このことは、男女それぞれがイメージする女子力の間に齟齬があることに起因しているのではないか。女性が男性の期待する女子力だと思ってする言動が、かえって男性にとっては好ましく思えないこともあるのではないか。

以下ではアンケート調査結果を、特に男女差に注目してみていく。

3. アンケート調査

(1) 調査方法

アンケート用紙¹⁰を、名古屋大学1年生の男子20人、女子26人の計46人に配布した。アンケート用紙では、「女子力」ということばを使用したことあるいは聞いたことがあるかも尋ね、その場面も回答してもらえるように自由記述欄を設けた。実際に調査に使用したアンケート用紙は、10ページに掲載する。

(2) 「女子力」の浸透

6ページ図1は、「女子力」ということばを使用したことあるいは聞いたことがあるかを尋ねた結果である。アンケート用紙には「使用したことも聞いたこともない」という選択肢も設けたが、そう回答した人は男女ともに1人もいなかった。「女子力」の存在はかなり広まっていると言える。

さらに、使用した・聞いた場面に関する回答もお願いした。女子の意見には「褒め言葉として言った」「女子っぽくなくさすぎだなと思ったときのつつこみとして言った」「友達が料理

⁸ 「ジレンマ+」編集部 編(2013)『女子会 2.0』NHK 出版、p.107

⁹ 「ジレンマ+」編集部 編(2013)『女子会 2.0』NHK 出版、pp.107-108

¹⁰ アンケート用紙作成に際して、まず名古屋大学1年生の男子5人、女子3人に『『女子力が高い』女子とはどのような人だと思いますか。』という質問について、自由記述で回答してもらった。そこで頂いた意見と、先述の高井らの調査結果で得られた大学生男女が挙げた女らしさをもとに、選択肢形式のアンケート用紙を作成した。

を取り分けてくれたり、お菓子を作ってきてくれたりしたとき」「料理ができる女の子が言われていた」「おしゃれな服を着ている女の子が言われていた」「ハンカチやバンドエイドを持っているときに言われた」などがあった。男子の意見には「女友達が自分より料理が下手なときに『女子力低いな』と言った」「男女問わず料理が上手い人に『女子力高い』と言う」「男子の女子的な振る舞いに対して」「『俺、女子力高いだろ(笑)』と言う」「女子同士の会話で聞いた」などがあった。男子が男子に向けて「女子力」ということばを使用することもあるようだ。また、男女ともに「テレビや雑誌、インターネットで見た、聞いた」という人が数人いた。

大学生の間では、さまざまな言動に対して褒め言葉・つつこみ・からかいなど幅広いニュアンスで「女子力」ということばが使用されているようだ。「女子力」の内容や、それに対する評価は多岐にわたると考えられる。それを知るためには、Q3の結果に注目する必要がある。

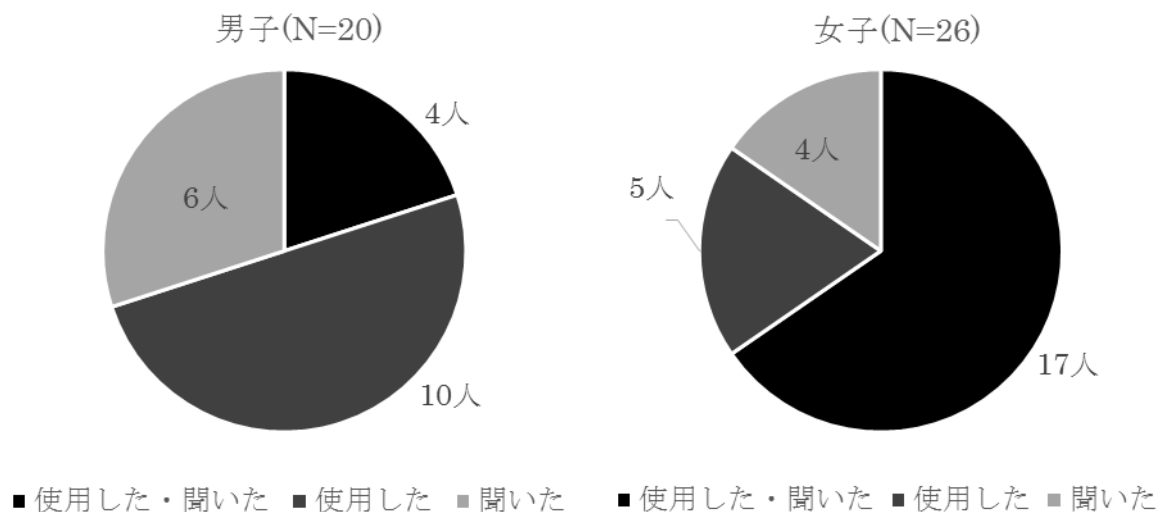


図1 「女子力」ということばを使用したこと・聞いたことがありますか

(3)大学生にとって「女子力」とは？

7ページ図2は、『『女子力が高い』女子とはどのような人だと思いますか。』という質問について、複数回答可として選択肢を選んでもらった結果である。これを見ると、男女ともに「料理が上手」なことと「家事ができる」ことを「女子力」として重要視していることがよくわかる。「女性は家を守るものだ」という従来の性役割が、「女子力」として大学生たちのジェンダー意識に根強く残っていると言える。しかし、2.(2)の文献調査で示唆されていたような、かわいらしく、控えめでおとなしい、男性の一步後ろを歩くような女性像はこの調査結果からはあまり見えてこない。「おとなしい」ことや「控えめ」であること、「男性を立てる」ことを「女子力」の要素として考える人は少ない。つまり、従来の女らしさ＝「女子力」と考えるのはあまり適切ではないようだ。

グラフの下部に注目すると、男子のみが「女子力」に該当すると考えている要素がいくつかあることがわかる。このことは言い換えれば、男子は女子自身が気にしているよりもさ

らに多くの女子の振る舞いに注目しているということになるであろう。

また、アンケート用紙には「その他」という選択肢も設け、自由記述による回答としたが、そこに回答をしてくれた女子も数人いた。その回答としては、「癒される」「実際に美しいかどうかは別として、美意識が高い人」「テキパキしている」「お菓子作りが得意で、皆におすそ分けしてくれる」などがあつた。

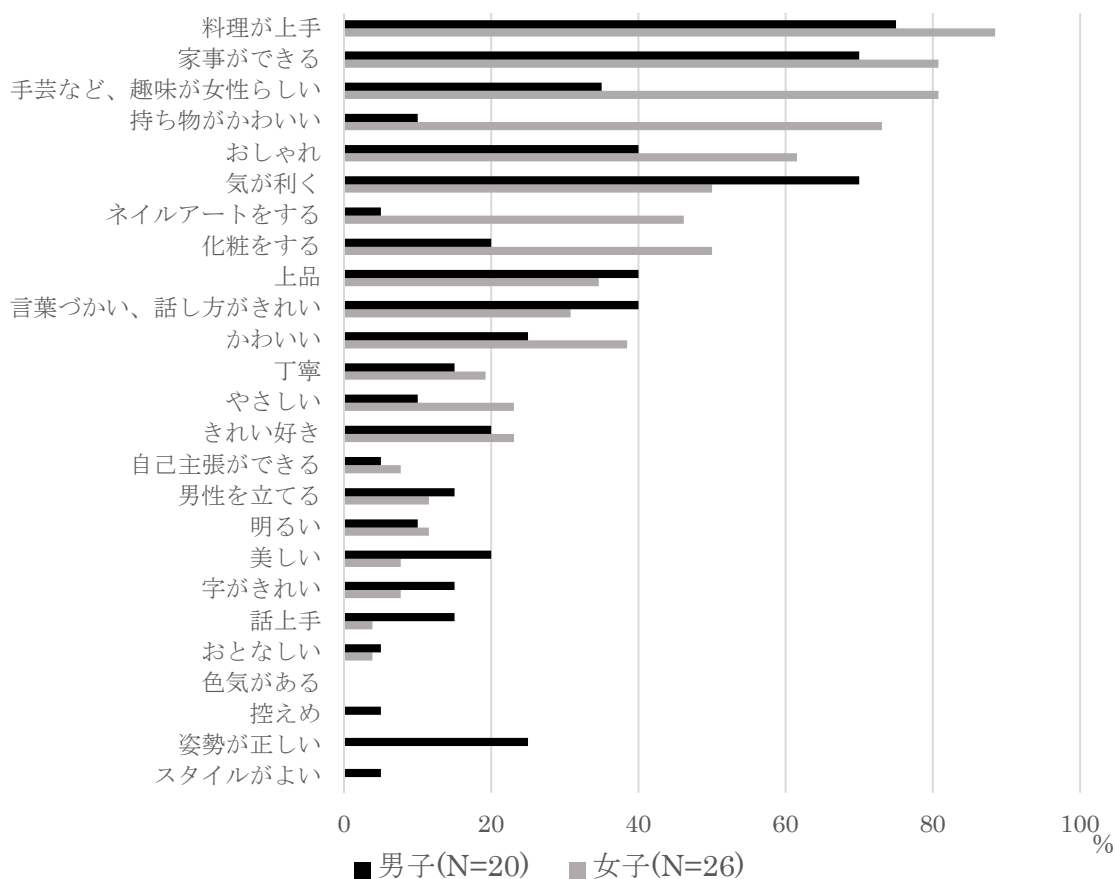


図2 「女子力が高い」女子とはどのような人だと思いますか

8 ページ図 3 は、顕著に男女差が現れた項目をピックアップしてまとめたものである。男女で比較してみると、女子は「おしゃれ」「化粧をする」「ネイルアートをする」など、外見に気を配る傾向があると言える。一方、男子は「気が利く」「言葉づかい、話し方がきれい」など、女子以上に内面的な要素に注目する傾向があるようだ。高井(2009)は 2.(2)で先述した男らしさ・女らしさに関する調査の中の「異性に求めることはどんなことですか？」という質問に対する回答結果から、男性は女性に外見の良さを求めがちであると指摘した。¹¹ところが、今回の調査結果より、「女子力」をイメージするとき、外見を気にしがちなのはむしろ女子自身なのではないかということがみえてきた。

¹¹ 高井範子・岡野孝治(2009)「ジェンダー意識に関する検討-男性性・女性性を中心にして-」、『大成学院大学紀要 11』 p.70

大学生がイメージする「女子力」には、男女間に共通点も相違点も存在することが明らかになった。

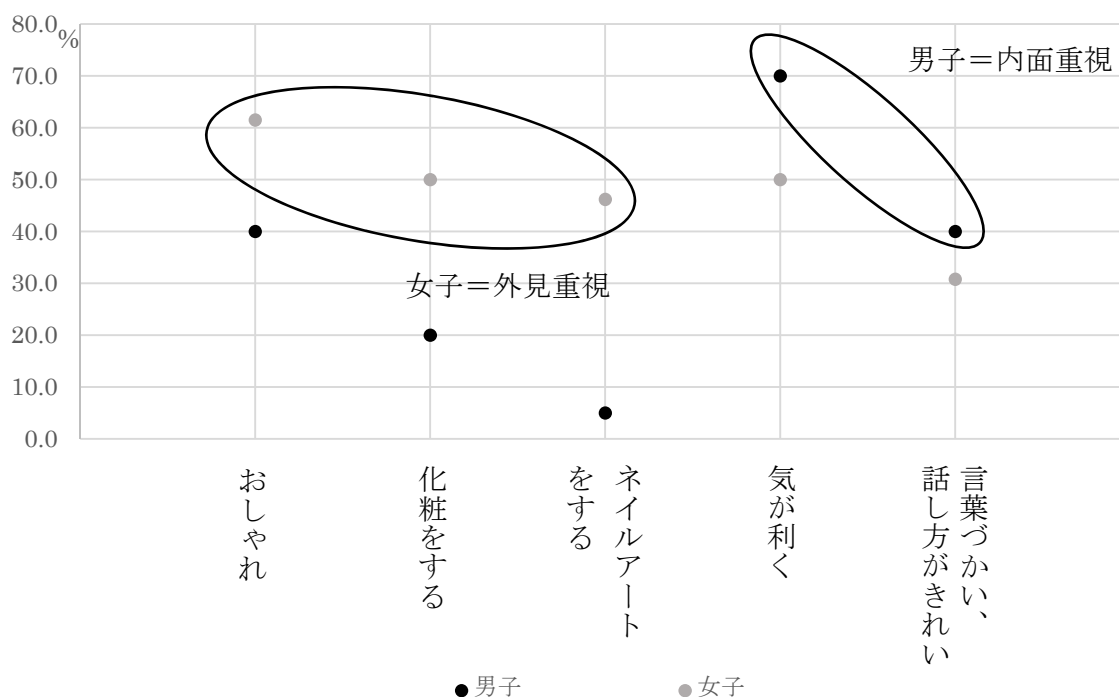


図3 「女子力」に対する考え方の男女差

4. まとめ

本研究では、大学生が考える「女子力」の内容を明らかにすることを目的とした。アンケート調査結果から、男女ともに多くの大学生が、料理が上手・家事ができるなど、家庭的であることを「女子力が高い」と考えていることが明らかになった。また、「女子力」をイメージするとき、女子は外見を重要視する傾向があり、その一方で、男子は女子以上に女子の内面を重要視していることも明らかになった。

「かわいらしく家庭的で、控えめでおとなしい、男性の一步後ろを歩く」という従来考えられてきた女らしさと、現代の大学生が考える「女子力」を比較すると、女らしいことと「女子力が高い」こととは必ずしも一致しないと言える。確かに、家庭的な女子は「女子力が高い」と言われることから、現代の大学生にも「家を守ることが女性の仕事」というジェンダー意識は根強く残っていることが窺える。しかし、控えめでおとなしく、男性を立てることは、大学生の間では「女子力」としてはあまり重要ではない。その理由は、現代を生きる大学生にとって、もはや男女平等は当然のことであり、男子にも女子自身にも「女性は男性よりも劣る存在であり、控えめでなければならない」という意識はほとんど存在しないからだと考えられる。したがって、女らしいことと「女子力が高い」こととは異なると考えることが適切である。

本論文において、筆者が最も主張したいことは、「女子力」に対する男女の考え方の相違で

ある。この点に関して、アンケート調査結果が示唆することは、筆者の当初の仮説『女子力が高い』と言うとき、男性は女性の外見を重視し、女性は彼女たち自身の内面を重視している」とはまったく逆であった。アンケート調査結果からわかるように、「女子力」をイメージするとき、実際には男子以上に女子自身が見栄えの良さにとらわれがちなのかもしれない。そしてこのギャップが、大学生に限らず世間一般に存在すると仮定するならば、このギャップこそが、女子力にマイナスイメージをもたらす一因になっているのではないか。服装や髪形・化粧といった外見は、内面に比べて努力次第で変えることが容易である。そこで実際に男性が気にする以上に女性が外見の良さにこだわってしまうことで、逆に男性からはその行き過ぎた努力に対して「やりすぎだ」と、好印象が得られなくなってしまうのである。「女子力高いね」と人々が言うとき、それは本当に褒め言葉としてのみとらえられるものであろうか。実際には過剰な女子力意識に対する皮肉なニュアンスが込められていることもあるのではないか。女子力の向上を目指すこと自体は必ずしも悪いことではない。美容に力を入れたり、内面の美に磨きをかけようとしたりして自分の自信につなげていくことは、女性が輝きながら生きていくための活力にもなるであろう。しかし女子力をあまりに過剰に意識することは、他人とりわけ異性の目を気にすることで、自分らしさを失うことにつながるかもしれない。こうした問題を防ぐためには、男女が互いにどう考えているのかも曖昧な女子力ということばに振り回されないことが大切であると筆者は考える。すなわち、男女間の相互理解が必要なのであり、なおかつ人々が自分らしさを見失わないことも重要なのである。

女子力という新しい概念には、まだ研究の余地が多く残っているはずである。今回は大学生を対象を限定したが、世間では20・30代の女性も女子力ということばには馴染みがあるようだ。年代によってイメージする女子力の内容に違いはあるのか、そもそも女子力や女子会というとき、対象となっている女子とはどのような女性であるのか、など、自分の女性としての生き方を考えていくために、今後さらに研究を進めていくことができれば良いと思う。

参考文献

- ・安野モヨコ(2001)『美人画報ハイパー』講談社
- ・「『現代用語の基礎知識』選 ユーキャン新語・流行語大賞 全授賞記録」
<<http://singo.jiyu.co.jp/>>(参照 2013.11.18)
- ・江原由美子、山田昌弘(2008)『ジェンダーの社会学 入門』岩波書店
- ・「ジレンマ+」編集部 編(2013)『女子会 2.0』NHK 出版
- ・高井範子・岡野孝治(2009)「ジェンダー意識に関する検討-男性性・女性性を中心にして-」、『太成学院大学紀要 11』pp.61-73

「女子力」に関するアンケート

名古屋大学法学部 1年 柘植結月

私は現在、基礎セミナーBで「女子力とは何か」というテーマで研究を行っております。本アンケートは、大学生の男女それぞれが考える「女子力」とはどのようなものかを知ることを目的としております。お手数をお掛け致しますが、ご協力よろしくお願い致します。

Q1.あなたの性別を教えてください。

1. 男性
2. 女性

Q2 「女子力」ということばを聞いたこと、または使用したことはありますか。(複数回答可)

1. 使用したことがある

→どのような場面で使用しましたか。()

2. 聞いたことがある

→どのような場面で聞きましたか。()

3. 使用したことも聞いたこともない

Q3. 「女子力が高い」女子とはどのような人だと思えますか。当てはまるものすべてに○をつけてください。

1. かわいい
2. 美しい
3. スタイルがよい
4. 姿勢が正しい
5. おしゃれ
6. 化粧をする
7. ネイルアートをする
8. 持ち物がかわいい
9. やさしい
10. 気が利く
11. 明るい
12. 男性を立てる
13. 料理が上手
14. 家事ができる
15. 手芸など、趣味が女性らしい
16. 丁寧
17. 控えめ
18. おとなしい
19. 字がきれい
20. 色気がある
21. 言葉づかい、話し方がきれい
22. 上品
23. 自己主張ができる
24. きれい好き
25. 話上手
26. その他(ご自由にお書きください)

お忙しい中、ご協力ありがとうございました。